

神楽坂2047（フタマルヨンナナ）

米山すみれ

はじめに安らぎがあった
そして痛みが生まれた

心臓から流れ出した温度が
凍った皮膚に麻酔を打った
氷のつぶてが腿を刺し
カラダは外から眠っていく

人工呼吸器をつけた子供が
毘沙門天へ運ばれていく
観客は指折り数えて
花火と共に少女は死んだ

溶けたマンシヨンの輪郭と空が
黒い絵の具を地面に落として
そうしてできた黒い染みから
薄暗い音楽が聞こえる

研ぎ澄ましてくれ もっと
キックが体を貫いて歪んだ光は脈を打つ
何かを吐き出したい気持だ
夜の間に溶けていきそうだ

はじめに安らぎがあった
そして今痛みは生まれた